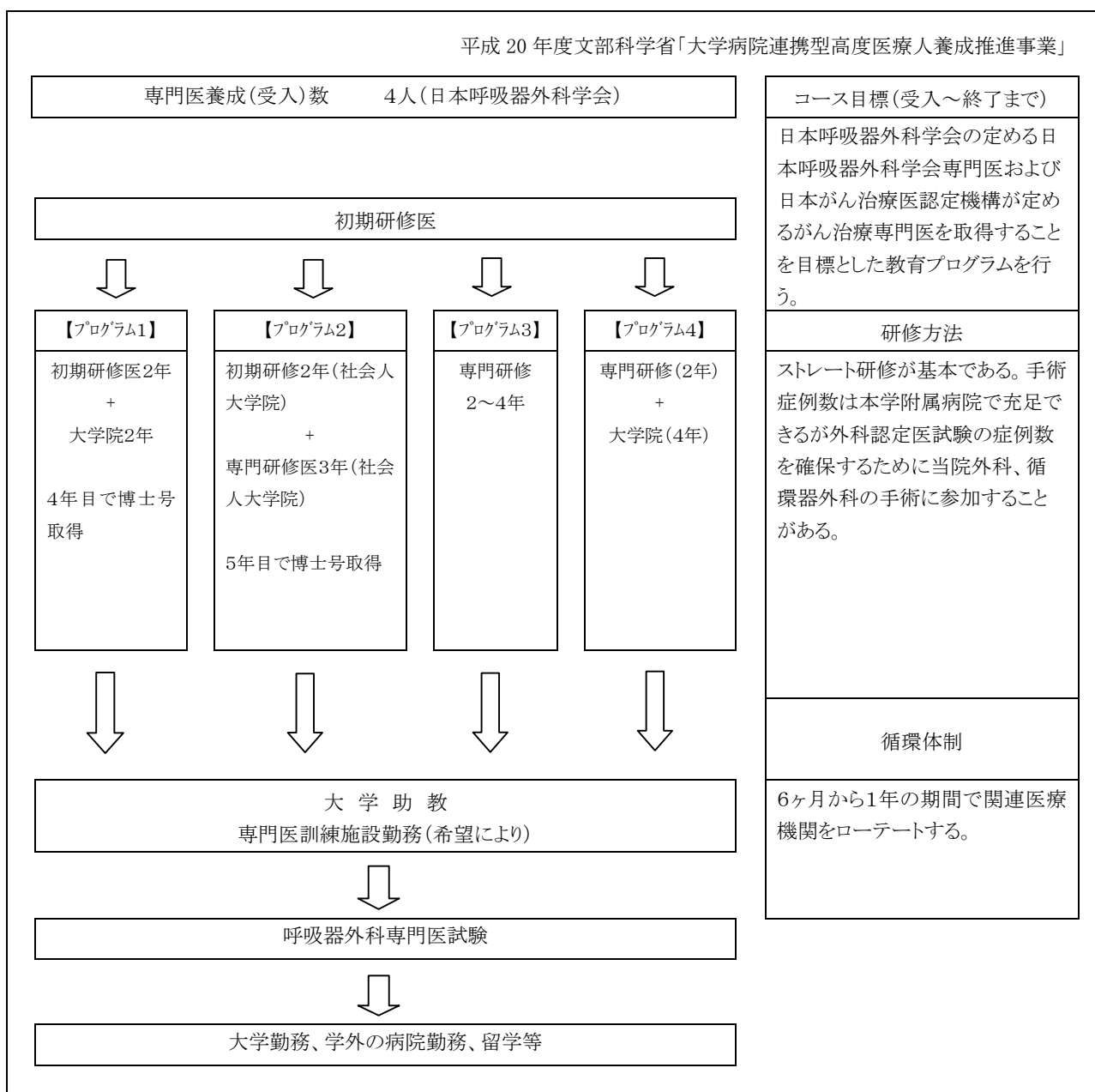


呼吸器外科専門医コース

コースの全体像

卒後3年目(初期臨床研修修了時以降)に呼吸器外科学講座に所属し呼吸器外科手術の修練を行う。身分としては専門研修医。必要な消化器外科手術、心臓血管手術に関しては当院外科(旧第一外科、消化器外科・肝臓外科・乳腺外科・小児外科)及び心臓血管外科(旧第三外科)にて修練を行う。呼吸器外科修練は外科手技・周術期管理・気管支鏡検査・化学療法・臨床腫瘍学等を修得してもらう。3年目以降、外科専門医取得以降は助教に昇進することができる。同時に後輩の指導、関連診療科との調整などチームの統括業務を担うことになる。また、臨床研究・基礎研究も行う。卒後7年目で呼吸器外科専門医・気管支鏡専門医の取得が可能となる。本課程と平行して社会人大学院に入学することになれば一定期間の基礎研究を行うことは可能である。



コースの概要

| 大学病院・医療機関 | 診療科名 | 専門分野名 | 指導者数 | 目的 | 養成(受入)人数 | 期間 |
|------------|-------|--------|------|---------------------------|----------|----|
| 岩手医科大学附属病院 | 呼吸器外科 | 呼吸器外科学 | 4名 | 呼吸器外科手術と周術期管理、呼吸器疾患の診断と治療 | 4名 | 3年 |
| 岩手県立中央病院 | 呼吸器外科 | 呼吸器外科学 | 4名 | 専門研修後の症例の積み上げ・地域連携の修練 | 2名 | 1年 |
| 岩手県立胆沢病院 | 呼吸器外科 | 呼吸器外科学 | 3名 | 専門研修後の症例の積み上げ・地域連携の修練 | 2名 | 1年 |

コースの実績

現在、当該コースに所属する専門研修医はいないが、岩手医科大学附属病院での年間手術症例数は平成20年で191例、肺区域・肺葉切除症例数は79例あるため専門研修医時代での外科専門医・呼吸器外科専門医の取得は全く問題ないと考えている。

コースの指導状況

大学附属病院では3名の呼吸器外科専門医(同時に外科専門医、日本がん治療認定医)が専門研修医の指導に当たる。臨床症例の種類・数が多いが関係する呼吸器外科医が少ないので一人当たりの症例数は非常に多くなる。又、臨床研究は指導医・教授が指導することになる。さらに協力関係にある基礎医学教室での研究も可能である。

専門医の取得等

| | |
|------|--------------------------|
| 学会等名 | 日本外科学会 |
| 資格名 | 外科専門医・外科指導医 |
| 資格要件 | 研修歴、手術経験・実績、研究業績、筆記・口答試験 |

| | |
|-----------|--------------------------------|
| 学会等名 | 日本呼吸器外科学会 |
| 資格名 | 呼吸器外科専門医 |
| 資格要件 | 会員歴、研修歴、手術経験・実績、学会参加、研究業績、筆記試験 |
| 学会の連携等の概要 | 日本外科学会の外科専門医取得が必要 |

| | |
|------|-----------------------------------|
| 学会等名 | 日本呼吸器内視鏡学会 |
| 資格名 | 気管支鏡専門医 |
| 資格要件 | 会員歴、研修歴、気管支鏡経験・実績、学会参加歴、研究業績、筆記試験 |